

事務事業名	《H22新規》ふるさと文化伝承館運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12501					
	□ 実施計画事業		所属課室	文化財課	課長名	有泉 久					
			所属担当	文化財担当	担当者名	保阪 太一					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	25	文化づくりの推進	事業区分	01	一般	10	04	05	040	03	
施策	39	歴史・伝統文化の振興		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> その他の事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度)		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		法令根拠				
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ()	()		南アルプス市ふるさと文化伝承館条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	文化財情報の発信拠点である「ふるさと文化伝承館」での文化財の適切な保管、収蔵、展示公開、体験学習の推進。平成21年度からは一般公開しており、適切に運営し来館者を増やし、市民及び来館者の満足度を増加させる。・来館者に適切な案内を行う。・展示、体験学習、イベントの運営など、ソフト、ハード両面で充実した運営を行う。・未入館者への周知を行う			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				賃金	554						
				報償費	10						
				消耗品	104						
			印刷製本費	73							
					計	741					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	南アルプス市の文化財情報の拠点であるふるさと文化伝承館におけるソフト、ハードの整備、展示公開、体験学習の推進、周知
25年度活動実績	
26年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内外一般市民(小中学生含む)
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市民や子どもたちが地域の歴史や成り立ちを知り、ふるさと意識や郷土愛を持つことが出来る。先人の残した知恵や文化を大切に思い、これを次代に守り伝えていこうと思う気持ちになる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	歴史的・文化的背景を尊重した豊かなまちづくりが行われる。 歴史的・文化的遺産のよりよい形で次代へ継承出来る。 市民の生涯学習の場や学校等における教育の場として活用される

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 入館者数	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 人口	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 地域を知りふるさと意識や郷土愛を持っていると考えた市民の割合	%
⇒	イ 先人の残した知恵や文化を大切に思いこれを次代に守り伝えて行こうと思った市民の割合	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 文化財・伝統芸能の保護や継承の市民の満足度	%
⇒	イ 地域の文化財を守り伝え活用している自主的団体(NPO)の数	件

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	75	58	85	60	50		
	一般財源	千円	947	697	681	686	826		
	事業費計(A)	千円	1,022	755	766	746	876	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	1,130	1,130	1,130	1,130	1,130		
	人件費計(B)	千円	5,143	5,143	5,143	5,143	5,143	0	0
	(A)+(B)	千円	6,165	5,898	5,909	5,889	6,019	0	0
活動指標	人	4,280.0	4,700.0	6,300.0	4,700.0				
対象指標	人	72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0				
	人	7,100.0	7,100.0	7,100.0	7,100.0				
	人	60,000.0	50,000.0	50,000.0	50,000.0				
成果指標	%								
	%								
上位成果指標	%	38.0	38.0	39.0	40.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成21年度のリニューアルの際には緊急雇用によるスタッフ賃金のみでオープンしたが、より充実した運営を図るため、22年度より緊急雇用によるスタッフを補充し、且つ広く周知できるよう運営事業として開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	伝承館では見るだけでなく実際に体験も出来るので好評であり、ニーズも多い。また小学校によるニーズは学年問わず多岐に渡っている。さらに多くの人たちに伝承館を知ってもらおうと、歴史文化に触れる機会を増やして入館者から「内容が充実しているのもっと多くの方に知ってもらいたい」「案内などの対応が良くてわかりやすい」「スペースが狭小であるのがもったいない」「体験メニューが豊富で魅力」などの声も寄せられている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度より開始
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	体験学習メニューの充実など、若い世代など多くの世代の取り込みを強化し、去年より1470名増と大幅に入館者数を増加することが出来た(前年度比130%)。

事務事業名	＜H22新規＞ふるさと文化伝承館運営事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	----------------------	-----	-------	-----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域住民や子どもたちが地域の歴史を知ることとふるさと意識や郷土愛を醸成することができ、個性と文化を育む都市づくりとなる。さらに、南アルプス教育の推進に直結する事業といえる。また、本市の歴史的な魅力を市内外へ周知することは本市
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 文化財の適切な保管とともに周知を兼ねた施設であり、公費を投入して行われた文化財の調査成果の市民への還元行為であるので、まず市で行うべきものである。また、扱っているものの全てが文化財であり、その扱いに専門性、熟練性が求められる。ただし、一部の体験学習の運用の面で民間団体やボランティア等と連携を図っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民共有の財産であると同時に市の魅力である文化財情報を発信する拠点施設であり、広く市民一般を対象とすることは妥当である。共有の財産である文化財を通して郷土愛を醸成し続けることに見直しの余地は無い。郷土愛の醸成には更に施設の認知度・活用度を高める必要がある。将来的に市が目指すフィールドミュージアムの拠点となりうる事業であり、継続す
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 周知の工夫などによりさらに良い成果を得ることを目指すことができる。しかし、運営の人員が十分とは言えず、課題といえる。多岐に渡る分野を扱うため、継続してのスタッフの育成が必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 学校による旺盛なニーズがあり、南アルプス教育の推進に地域住民や子どもたちが地域の歴史や成り立ちを知り、ふるさと意識や郷土愛を醸成する機会や、市の歴史に裏付けられた魅力を発信する機会を失う。市の歴史に裏付けられた魅力を発信する機会を失う。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 地域の資源を知るための活動であり、市が推し進めるまちづくりには欠かせない分野といえる。安定した人員が確保されていない今は、削減予知はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在スタッフの人件費が確保されていないため、削減でなく確保が求められる。ボランティアを育成するにしても核となるスタッフは必要である。ボランティアに関しては部分的に試行している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民、市内小中学校全てに広く施設の周知、活用を呼びかけており、公平といえる。また、地域や各学校からの要望、要請には可能な限り応えるよう心がけている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校及び市民、市外からのニーズも寄せられており、徐々に周知されている感はある。一方でこういった地域の歴史に全く触れていない層も多く、更なる工夫が必要である。当施設は地域の文化遺産の「保護」「調査」と「活用」という両軸を司っている拠点施設であり、より充実した活用を図ることで成果をあげ、効率の良い運用を図るべきである。その活動の先に、市内全体を屋外博物館とみただたフィールドミュージアムの拠点施設としても活かせるものとする。
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
①適切な収蔵環境の確保 ②維持管理するためのスタッフ確保 ③効果的な普及活動のおこなえるスタッフの育成 ③収蔵スペースの確保 ④展示公開スペースの確保																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
現在保管されている資料を効率良く保管できるよう見直しを行い、当面必要なスペースを確保しつつ、新たなスペースの確保のため、空き施設・スペースの確保や収蔵施設の増設などを含め検討する。 また、収蔵スペースを伝承館以外に求めることで、展示公開スペースを拡張することも併せて検討する。 運営スタッフの確保と育成が急務。核となるスタッフのいない状況で、ボランティアを育成・運用することは困難といえ、現在いるスタッフを育成する中で将来的に核になってボランティアによる活動が充実できることを目指す。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑨	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑨																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					